

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.263・4月2日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部

卒寿(数え年90歳)を迎え、画文集「彩りの旅」を今年2月に完成させた中原利子さんが今回の素敵な人。「ちぎり絵」「フラダンス」「ハンドベル」など、多彩な趣味を持ち、ますます元気な中原さんにお話を伺った。

母の影響で始めた日本画

中原さんの画文集「彩りの旅」には、ちぎり絵、俳句、日本画や書など150点余りの作品と、旅の思い出がつつられている。日本画を趣味としていた母親の影響で、物心ついたときから絵を描いていた中原さん。女学校を卒業するころには本格的に日本画を習い、大阪女流画家展で入選するまでになっていた。

だが、第二次世界大戦が開戦、世情は不安定になる一方だった。そんな中、42(昭和17)年、22歳で結婚。「戦時下では生きること必死で、日本画どころではなかった。防空壕の中で爆撃音におびえていた日々を思い出すと、今の日本の繁栄は夢のようです。戦争ほど悲惨なものはありません」と中原さん。

50歳で出会ったちぎり絵

長男を1歳で亡くすなど落ち込んだ時期があったが、戦後は長女、次男と家族4人仲良く暮らし、気が付くと50歳を過ぎていた。

自分の時間が持てるようになったころ、義妹が楽しんでいたちぎり絵に出合った。絵ごころのあった中原

さんも習い始め、俳句の会にも入会、ちぎり絵に句をつけて楽しんだ。

66歳で海外旅行へ

やがて、子どもたちが巣立ち、実母を見送った中原さんは66歳のとき、初の海外旅行でヨーロッパへ出かけた。

旅行から帰った中原さんは、外国での不安は感じなかったものの、会話ができなくて楽しみが少なかった事を悔やんだ。70歳を迎え、今度はスペインを訪れることが決まると、スペイン語を独学で勉強し始めた。「六十の手習い」ならぬ「七十の手習い」だった。

77歳になると、孫と一緒にアメリカでホームステイにチャレンジ。3週間、英語だけの生活体験をした。以後、80歳すぎまで、ヨーロッパ、北欧、アメリカ、カナダなど約30カ国を旅して回った。

現在は、近江八幡市にあるケアハウスで生活している中原さん。彼女の毎日は仲間とちぎり絵、ハンドベル、フラダンスなどを楽しみ、充実している。



卒寿を迎え元気で
画文集を完成!



素敵な人
なかはら としこ
中原利子さん
(89歳・近江八幡市在住)

人生のひと区切り

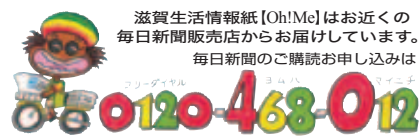
海外旅行などアクティブな生活を過ごしていた中原さんだが、35年前に始めたちぎり絵と俳句の創作はずっと続けていた。08(平成20)年、同年輩の人が、長年描きためた絵手紙を簡単な冊子にまとめたのを見た。刺激を受けた中原さんは、自分もできるのではないかと思立った。今までの人生を振り返り、「出会ったたくさんの人たちに自分のちぎり絵を見てもらいたい。俳句や海外旅行の思い出をつづり画文集を作ろう」と決心。

今までに創作した作品を集め今年2月、自主出版が実現した。印刷会社などは知人が紹介してくれるなど、周囲の協力もあった。出来上がった画文集はお

世話になった人や友人に贈った。「今回本を出版したことで人生にひと区切りがつけられました」と中原さんは言う。最後に、長生きの秘訣は?と聞くと、「食事に気をつけて、いつも脳を刺激することでしょうか」と、元気な返事が返ってきた。ハツラツとした笑顔がとても素敵な中原さん、これからも元気で活躍されんことをお祈りしたい。

(取材・福本) 詳しくは www.gaido.jp/2631
掲載した作品はすべて画文集に収録されています。

プレゼント
中原利子 著
画文集「彩りの旅」
非売品のこの本を、中原さんのご好意で読者の方にプレゼントさせていただきます。詳細は4面プレゼントコーナーにて



α-station SPECIAL PROGRAM SPRING FANTASY 2009
三井寺・夜桜と光のコンサート
α-stationの公開録音
小泉ニロ LIVE IN 三井寺
会場 三井寺観音堂 展望広場
主催 ★ 園城寺(三井寺)
後援 ★ 大津市 びわ湖大津観光協会 ライトアップ大津推進協議会
協力 ★ エフエム京都(α-station)
【小泉ニロ(こいずみにる)】プロフィール
1981年7月9日、北海道出身。10代後半、バックパッカーとして約2年間、単身で世界約50カ国を旅する。帰国後、ボサノバギターを始め、ボサノバに導かれるようにブラジルへ渡航。現地でブラジル音楽をはじめとするラテン音楽に影響を受ける。07年、大阪を拠点にライブ活動を続けながら、ボサノバやジャズなどを融合させた新しいラテンミュージックを探索、オリジナル楽曲の制作にも取り組む。現在3rdアルバム「Bossa@NLO-Goodies」を発表し注目が高まっている。また、自転車の復権をテーマにしたフリーマガジン「ふたつの輪」の編集長をはじめ、ラジオのパーソナリティー、レビューの執筆など多方面で活躍中。
西国第14番札所 **三井寺**
滋賀県大津市園城寺町246 TEL.077-522-2238
<http://shiga-miidera.or.jp>
●交通のご案内
JR琵琶湖線「大津駅」下車バス10分、JR湖西線「大津京駅」下車南へ徒歩(1.8km)15分、京阪電車石坂線「三井寺駅」下車西へ徒歩(0.7km)5分

びわ湖大津 平成21年 春のライトアップ
4/1(水)~17(金) 18:30~21:30
琵琶湖疎水と三井寺境内
大津市内の疎水と三井寺境内では、ライトアップによる夜桜が楽しめます。
期間中のライトアップ時間帯は入山料・駐車料とも無料です。